第２学年２組　学級活動⑵学習指導案

日時：令和５年１１月２９日（水）第５校時

場所：２年２組教室　　指導者：鈴木　愛菜

１　題材名　他者に配慮したメディアの利用

　　　　　　ア 自他の個性の理解と尊重，よりよい人間関係の形成

２　題材について

（１）生徒の実態

（略）

（２）題材設定の理由

　　　メディア使用が日常化している中で、SNSは生徒にとって便利なものである一方、個人情報の漏洩などのリスクも伴うものである。生徒はSNS使用の際に個人情報の取り扱いに気を付けることを理解しているが、状況に応じて適切に判断する力に欠ける。昨年度は、リスクを予測し回避する方法について考え、日々実践してきた。今年度は、SNSでの情報発信を疑似的に行うことを通して、他者に配慮したメディア使用について考えさせ、実行する力の育成につなげたいと考え、本題材を設定した。

指導にあたっては、生徒にとって身近であるInstagramを扱うことを想定し、情報発信の際に気を付けるべきことを考えさせる。事前準備として、Instagramに投稿したい写真を複数枚撮らせておく。本時では、投稿する写真としない写真を仕分けさせ、他者の意見を聞くことによって、人によって良いと感じるものが違うことに気付かせたい。また、情報発信の際に気を付けるべきことを具体的に書かせることで、日常生活へと生かすことができるようにしたい。

３　他教科との関わり

|  |  |
| --- | --- |
| 道徳科（１０月） | 主題名「安全で節度ある生活」　教材名「SNSとどうつき合う？」  価値　A　節度、節制  　SNSの使い方について話し合うことを通して、自分の生活を振り返り、節度ある生活を過ごすことについて考えを深めた。 |

４　本時のねらい

SNSでの情報発信について、級友と意見を交わしていくことを通して、情報を発信する際に気

を付けるべきことについて具体的に考え、意思決定することができる。

５　学習過程

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容・活動 | 形態 | 時間 | ○指導上の留意点　◇評価（方法） |
| つかむ | １　日常生活の中にあふれているメディアの利用について振り返る。  　(１)自分が写っている写真の扱い方  (２)友達も写っている写真の扱い方  ２　本時の課題をつかむ。  写真をSNSに載せるときに気を  付けることは何かな？ | 全体 | ５ | ○普段スマートフォンやタブレットで撮影している写真についてどのように認識しているか問いかけることで、課題意識がもてるようにする。  ○実際に近い場面を設定し、問題意識を高めるために「クラスの思い出を残すため、Instagramに載せる写真を選ぶ」という問いかけをする。 |
| さぐる  見つける | ３　写真を選びながら、自他の感じ方を話し合う。  (１)Instagramに載せる写真を班ごとに考える。  載せて良い  載せてはダメ    （２）載せるか迷う写真について全体で話し合う。  （３）Instagramに載せて欲しくないものワースト３を書く。  　　　例）自分の変顔、寝顔、フルネームなど  ４　情報を発信する際に気を付けるべき事を考える。 | 班  全体  個人  ・  全体  個人  ・  全体 | 25  10 | ○事前に、班毎に選んだ載せたい写真２枚を用いることで、自分事として本時の活動に臨めるようにする。  ○個人情報が入っている写真や、人によって掲載するにあたって意見が分かれそうな写真を教師が準備しておき、話し合いが深まるようにする。  ○載せてよいかどうか、班員の意見を可視化  するため、思考ツールとして数直線を用いる。  〇載せない写真や載せるかどうか迷っている写真について、理由を詳しく話すことで、次の活動へつなげるようにする。  ○それぞれ載せて欲しくないものを書かせることで、人によって嫌だと感じるものにずれがあることを認識させる。  ○オクリンクで送らせることでクラスの意見を全体で共有できるようにする。 |
| 決める | ５　本時の学習を振り返り、意思決定する。  ・SNSに写真を載せる際に最も考えたいこと | 個人 | 10 | ◇人によって物事の捉え方にずれがあることを理解し、SNSによる情報発信に気を付けるべきことを具体的に考えているか。  （ワークシート）【思考・判断・表現】  ○炎上事例を紹介し、日常生活にも似たようなことがあることを理解させ、日々の生活に生かすことができるようにする。 |

〇授業実践後の感想

　・「個人情報を載せない」という発言が多く出されたものの、個人情報とは何か、また、個人情報でなくても人によっては載せてよい写真の度合いが違うということをもう少し踏み込んで気付かせたかった。

〇授業の反省

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容・活動 | 形態 | 時間 | ○指導上の留意点　◇評価（方法） |
| つかむ | １　日常生活の中にあふれているメディアの利用について振り返る。  　(１)自分が写っている写真の扱い方  (２)友達も写っている写真の扱い方  ２　本時の課題をつかむ。  写真をSNSに載せるときに気を  付けることは何かな？ | 全体 | ５ | ○普段スマートフォンやタブレットで撮影している写真についてどのように認識しているか問いかけることで、課題意識がもてるようにする。  導入の工夫は要検討である。今回は擬似的なInstagramという設定にしたが、学校や生徒の実態に沿ったものにするとよいと感じた。  ○実際に近い場面を設定し、問題意識を高めるために「クラスの思い出を残すため、Instagramに載せる写真を選ぶという問いかけをする。 |
| さぐる  見つける | ３　写真を選びながら、自他の感じ方を話し合う。  (１)Instagramに載せる写真を班ごとに考える。  載せて良い  載せてはダメ  （２）載せるか迷う写真について全体で話し合う。  （３）Instagramに載せて欲しくないものワースト３を書く。  　　例）自分の変顔、寝顔、フルネームなど  ４　情報を発信する際に気をつけるべき事を考える。 | 班  Instagramに載せてよいかどうかの感覚が、教師と生徒の間でも変わるため、どの写真をピックアップするかは要検討である。  全体  個人  ・  全体  個人  ・  全体 | 25  10 | ○事前に、班毎に選んだ載せたい写真２枚を用いることで、自分事として本時の活動に臨めるようにする。  後半の活動に時間をとった方がよいと感じたため、班の話合いは１０分弱くらいにできるとよい。  ○個人情報が入っている写真や、人によって掲載するにあたって意見が分かれそうな写真(表情、を教師が準備しておき、話し合いが深まるようにする。  ○載せてよいかどうか、班員の意見を可視化するため、思考ツールとして数直線を用いる。  〇載せない写真や載せるかどうか迷っている写真について、理由を詳しく話すことで、次の活動へつなげるようにする。  「どんな写真が載っても大丈夫」な生徒や「顔など容姿を気にする」生徒など、個人差があった。  ○それぞれ載せて欲しくないものを書かせることで、人によって嫌だと感じるものにずれがあることを認識させる。  ○オクリンクで送らせることでクラスの意見を全体で共有できるようにする。 |
| 決める | ５　本時の学習を振り返り、意思決定する。  活動４に時間を割きたい。本実践では、10分もとることができなかった。  ・SNSに写真を載せる際に最も考えたいこと | 個人 | 10 | ◇人によって物事の捉え方にずれがあることを理解し、SNSによる情報発信に気をつけるべきことを具体的に考えているか。  写真の並び替えについて(活動３)は、授業実践の後に家庭でも取り組んでもらうことで、生徒が保護者との間にある認識の違いに気付く機会とするだけでなく、学校での取り組みを保護者が知るきっかけとしていきたい。  （ワークシート）【思考・判断・表現】  ○炎上事例を紹介し、日常生活にも似たようなことがあることを理解させ、日々の生活に生かすことができるようにする。 |

ワークシート



**めあて**

写真をSNSに載せるときに気を付けることは何かな？

1. オクリンクで友達の意見を見て、分かったことや感じたことを書こう。

|  |
| --- |
| 自分にない考えは？感じたことは？ |

クラスみんなの

意見は？



1. Instagramなどで情報を発信する際に、気を付けるべきことをまとめよう。

|  |
| --- |
| ① |
| なぜそれを気を付ける？→ |
| ② |
| なぜそれを気を付ける？→ |
| ③ |
| なぜそれを気を付ける？→ |

1. 今日の授業を振り返り、感想をまとめよう。

|  |
| --- |
| わたしの宣言： |
|  |
| 感想： |
|  |
|  |